進捗報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　　2022 年　　10 月　　14 日
● 事　業　名　：　子どもの未来のための協働促進助成事業：　日本初の LGBTQ センター「プライドハウス東京」設立プロジェクト
● 資金分配団体　：　特定非営利活動法人エティック
● 実 行 団 体　：　特定非営利活動法人グッド・エイジング・エールズ

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
A）コンソーシアム体制 多主体が連携した組織で会議運営と基盤強化を行う	<定量>官民産学ネットワークによる定期的なコレクティブ会議の開催 <定性>サステナブルな事業の実施	<定量>80 主体による、全体会議（2 回/年）とチーム会議（1 回/月/7 チーム） <定性>運営主体法人化に向けた準備	<定量>2022 年 3 月末 <定性>2023 年 3 月末	<定量＞ 72 主体による全体会議を 2 回/年、チーム会議を 2 回～4 回/月/8 チーム ＜定性＞ 2023 年 4 月 1 日に代表交代するために、3 人の共同代表を選出し、10 月 11 日の 2 周年イベントにて発表。NPO 法人格の申請準備を進めており、10 月中に東京都に一次提出予定。ームを組成	2

B）センター機能 拠点となる日本初の常設 LGBTQ センターを立ち上げ、啓発・支援事業を行う	＜定量＞①LGBTQ センター訪問者数、②イベント参加数、③相談支援利用者数 ＜定性＞常設 LGBTQ センターの設立	'＜定量＞年間のベ：①12000 人、②3000 人、③1500 人 <定性>運営主体法人化に向けた準備	<定量>2022 年 3 月末 <定性>2020 年 10 月	＜定量＞ ①6000 人、②8000 人、③300 人 ＜定性＞ 事務局スタッフ、レガシー運営スタッフ、相談支援スタッフの増員を行い、追加採用。法人化に向けた体制を強化するため、個別 MTG を開始。	2
C）情報プラットフォーム機能 子ども・若者を中心とした全ての人たちが、正しい情報にアクセスできるように、情報集約と整備を行う	'<定量>①オフライン LGBTQ 関連書籍所蔵数、②オンライン LGBTQ 関連団体数・イベント掲載数 <定性>実態調査結果共有によるニーズの可視化	<定量>①3000 冊、②団体数 100、イベント数 200 <定性>高校生意識調査結果の可視化	<定量>2022 年 3 月末 <定性>2022 年 3 月末	＜定量＞ ①3500 冊、②未掲載（現在、Japan Pride Network、LGBT 法連合会等の全国ネットワークとの連携を行なっている。企業 ERG を立ち上げ、企業間でのイベント等の共有をメーリングリストにて実施開始。） ＜定性＞ コロナのため実施スタートが遅れ、現在、実査中。3 月に速報レポートを発表予定。	2
D）アウトリーチ機能 日本全国へ啓発・支援を届けるための仕組みを構築し、適切に届ける事業を行う	'<定量>①相談支援アウトリーチ数、②支援者育成プログラム参加者、③オンライン授業数・配布数	'＜定量＞①10 回/120 人、②60 人、③10 校・100 セット配布 <定性>東京以外の都市で 3 箇所	<定量>2022 年 3 月末 <定性>2023 年 3 月末	＜定量＞ ①全国 8 都市にて「地域連携」「出張レガシー」を実施/80 人ー300 人、②LGBTQ+のユースをピア的な立場でサポートできるユーススタッフを募	2

	＜定性＞地域LGBTQ支援団体設立のサポート			り、12人を育成。③コロナが落ち着いて来たこともあり、8月に「LGBTQ＋ユースカンファレンス」をオフライン＆オンラインのハイブリッド開催。また、札幌新陽高校と協働で「LGBTQ+と性の多様性についての学ぶ」という授業を「総合的な探究の時間」にて開発し、9月に4週間に渡り実施。現在、汎用性の高い授業マニュアルを制作準備中。 ＜定性＞ ２箇所：Pride Center Osaka（大阪）の立ち上げ時リソース支援、金沢にじのま（石川）の人的支援。全国の居場所づくりをしている団体のネットワーク会議をスタート。	

＊進捗状況：1計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3計画より遅れている、4その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値

3. (任意)活動に関する報告
①教育・多様性発信チーム：全国のプライドパレードの会場にて「出張レガシー」と題したブース出展を行い、プライドハウス東京の資材だけでなく、LGBTQ+や多様性についての絵本などを設置した。また、中学生・高校生・大学生、学校教職員などのプライドハウス東京レガシー見学や取材インタビューに対応。みずほ FG と「多様な家族」をテーマとした動画を制作するとともに、札幌新陽高校とともに「LGBTQ＋と性の多様性」についての授業を開発し実施した。 ②文化・歴史・アーカイブチーム：「LGBTQ＋コミュニティ・アーカイブ・トークシリーズ」という企画を立ち上げ、「女を愛する女たち」というクロストーク・オンラインセッションを開催。また、「人のアーカイブ」として HIV 関連のアクティビズムの牽引者のひとり、長谷川博史氏のインタビュー動画を撮影し編集した。（長谷川氏は、残念ながら撮影翌日に他界） ③ウェルネス・サポートチーム：24 歳以下の LGBTQ＋やそうかもしれないユース向けの包括相談支援プログラム「ラップアラウンド・サポート」を継続実施。全国の支援団体とのネットワーキング・オンライン・イベントや、トランスジェンダーとセクシュアルヘルスの動画およびプライドハウス東京レガシー内での提示企画を行った。 ④アスリート発信チーム：スポーツ団体への研修、アライアスリート研修事業、JOC との包括協定、スポーツチーム・協会・自治体と連携したプライドマッチの実施など、東京 2020 のレガシーとしての活動を積極的に行った。また、子ども・ユースにとってのスポーツ機会の提供と、スポーツ機会における性の多様性について学べる機会の提供を同時に企画展開した。 ⑤祝祭・スポーツイベント・ボランティアチーム：3 年ぶりに代々木公園にてリアル開催となった「東京レインボープライド 2022」にて、プライドハウス東京のブースを出展し、パレードの集客力と情報発信力と連携することで、より多くの方々にプライドハウス東京の存在と活動内容を周知することを目指した。また、協賛企業の ERG（Employee Resource Group）を立ち上げ、月 1 回の定例 MTG を開催しながら、ボランティア活動の機会を提供した。 ⑥居場所づくりチーム：「トランスデー」というトランスジェンダーの当事者や周囲の方々が来館しやすい企画デーを立ち上げるとともに、当事者インタビュー動画、クローズド交流会の定期開催など、積極的にマージナライズ（周縁化）しやすいトランスコミュニティの可視化とサポートを行なった。 ⑦仕組みづくりチーム：代表交代に関わる様々なプロセスをネクストチームとして取りまとめるとともに、新法人格の立ち上げに向けての各種ドキュメント作成を準備。また、新規の運営スタッフ、事務局スタッフ、相談スタッフなどの採用活動を積極的に行い、新体制を支える体制づくりを強化した。 ⑧レガシー運営チーム：立ち上げ以来の総来場者数が 6000 名を突破。無料相談（法律、自殺対策など）を提供するとともに、少人数での

交流会の開催にも挑戦した。また、10 月 11 日の開設 2 周年においては、LGBTQ＋コミュニティを継続的にサポートしてきた TRUNK（HOTEL）と連携し、周年パーティーを実施。協賛企業からのお祝いグッズの取りまとめや、思い出づくりのフォトブースづくりを行った。
⑨ユースユニット：ティーンズ・デー、ユース交流会などの LGBTQ+やそうかもしれないユースにフォーカスした企画を計画し実施。また、「LGBTQ+ユースカンファレンス」と題して、教育関係者や NPO 関係者、メディア・記者に対して、現状の教育や支援現場における課題の可視化を行うとともに、全国からスカラシップ生を募集し、ユースの活動参画機会の提供を行った。あわせて、2 名の学生インターンも受け入れた。また、ユースからユースに届けるコミック・エッセイ「トビタテ！LGBTQ＋6 人のハイスクール・ストーリー」を出版した。
⑩多言語サポートユニット：「デフデー」というろう者や手話を使用してコミュニケーションを取る方々で、LGBTQ+の当事者やアライの方々が参加しやすい企画を立ち上げた。また、日常的に、英語や中国語での SNS 等での情報発信も行っている。

③　広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　☑広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☑イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 2021 年 12 月 1 日：「LGBTQ+ユース向けのコミックエッセイ」立ち上げ会見 東京新聞 https://www.tokyo-np.co.jp/article/148405 2022 年 8 月 22 日：「LGBTQ+ユースカンファレンス」を実施 NHK https://www3.nhk.or.jp/shutoken-news/20220821/1000083911.html

2022 年 9 月 1 日：札幌新陽高校と LGBTQ+と性の多様性に関する授業を協働開発
北海道新聞
https://www.hokkaido-np.co.jp/article/733158

2.広報制作物等

追悼：長谷川博史さん（大塚隆史×長谷川博史 対談 予告編）
https://www.youtube.com/watch?v=WUvauM5zHpM

国際女性デー「女性らしさから、ありのままの自分へ」オンラインローンチイベント
https://www.youtube.com/watch?v=tAwe8C2yZbk

【プライドハウス東京×株式会社みずほフィナンシャルグループ】
時を超えて、成長する家族～多様な家族のあり方～スライドムービー
https://www.youtube.com/watch?v=aU6D0BFK0m0&t=7s

「死にたい」ほどつらい気持ちを抱えている LGBTQ+ユースのあなたへ
【ゲスト シオリーヌさん】～「LGBTQ＋ いのちの相談窓口」特別ムービー～
https://www.youtube.com/watch?v=W0tmzwMR9wk

3.報告書等

LGBTQ+の子を持つ親の心情やニーズに関するアンケート報告書
https://pridehouse.jp/assets/img/handbook/pdf/220419_F_web.pdf

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

LGBTQ＋ユースカンファレンス（READYFOR でのスカラシップ生向け費用クラウドファンディング）
https://readyfor.jp/projects/phtyouthconference2022

添付資料 活動の写真（画像データは１枚２MG 以下、3～4 枚程度）

「トビタテ！LGBTQ+6 人のハイスクール・ストーリー」出版記念イベント@駐日英国大使館

札幌新陽高校との「LGBTQ+と性の多様性」に関する授業開発・実施